

市川市市民活動団体支援金交付申請内容変更承認申請書

平成17年6月6日

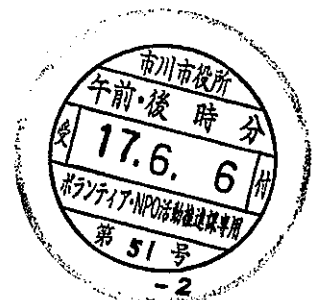
市川市長

団体名 緑のみずがき隊
代表者名 谷藤 博喜
所在地 市川市東菅野5-24-18 岩丸方
電話 047(337)0369

市川市市民活動団体支援金の交付申請内容について、下記のとおり変更の承認を受けた
いので、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第11条第1項の規
定により、申請します。

記

1. 事業の名称 環境教育プログラム『みどりの寺子屋』
2. 変更の理由 より多くの方に北方ミニ自然園を認知してもらう為。
また、来園者が安全に遊べるよう、園の設備を整える作業にも力を入
れる為。
3. 変更の概要
 - ・開催回数を2回追加（8月と10月）
 - ・土地借用謝金を増額
 - ・事業消耗品費に園の設備工事資材を含める
4. 変更後の事業費総額 125,124 円
5. 変更後の交付申請額 62,562 円
6. 添付書類
 - (1) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書（様式第3号）
 - (2) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書（様式第4号）



市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

<p>事業の名称</p>	<p>環境教育プログラム『みどりの寺子屋』</p>	
<p>事業の目的、効果、 アピール等</p> <p>※別紙添付可</p>	<p>（目的）現在失われつつある水田や池などの水辺の生きものに直接触れ合い、遊びながらの生きもの観察や、教育水田での稲作体験を通じて、環境に対する意識を高め、地域の歴史や文化を大切にすることを育てることを目的としています。</p> <p>（効果）自然の中で遊びながら学ぶことは、子どもにとっても大人にとっても貴重な体験となり、益々深刻化する環境問題に対して関心を持つ好機になることと思われます。</p> <p>（アピール）－昨年は7回開催し、延べ324名、昨年は6回開催し、延べ159名（記名者のみ）の市民の方々に参加して頂きました。</p> <p>※詳細は、別紙活動報告書を参照</p>	
<p>主な対象者</p>	<p>市内の小学生とその保護者</p>	
<p>事業実施期間</p>	<p>平成17年4月～平成18年3月</p>	
<p>事業実施場所</p>	<p>（予定）北方生きもの子どもミニ自然園（市川市北方町4丁目地先）</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p>	<p>内容</p> <p>4月 「田植えと春の生きもの観察」</p> <p>5月 「田の草取りと春の水辺の生きもの観察」</p> <p>6月 「田植えと初夏の水辺の生きもの観察」</p> <p>7月 「夏の夕べの生きもの観察」</p> <p>8月 「夏の生きもの観察と自然あそび」</p> <p>9月 「稲刈り」</p> <p>「脱穀」</p> <p>10月 「秋の生きもの観察と自然あそび」</p> <p>11月 「収穫祭」</p> <p>2月 「縄ないとワラ細工」</p> <p>3月 「アカガエルの産卵などの観察」</p>

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称： 環境教育プログラム『みどりの寺子屋』

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	46,000	参加費 収穫祭の回 200円×70名 その他の回 100円×320名
補助金収入	62,562	市川市市民活動団体支援金
自己資金	16,562	隊員会費
合 計	125,124	

2. 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
講師謝金	20,000	1人1万円×2名
土地借用謝金	30,000	
印刷製本費	5,122	チラシ、案内葉書
通信費	10,000	3回50名へ送付 4回×50名×50円
事業消耗品費	60,000	木材・竹材など資材、鎌など用具、園の設備工事資材等
合 計	125,124	

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい) (いいえ)

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。